

GG

1

From Governor (細淵雅邦) / ガバナー補佐新年あいさつ (齊藤茂 / 斎藤光人 / 黒白秀之 / 内山泰成 / 那須敬明 / 小林久純 / 小林達郎 / 株竹眞次 / 齋藤幸子 / 尾ヶ井寛 / 伊藤高太郎 / 金子篤徳) / グループ奉仕事業 (齊藤茂 / 斎藤光人 / 齋藤幸子 / 金子篤徳)

ガバナー公式訪問 (川口RC / 岩槻RC / 春日部南RC / 大宮シティRC / 川口シティ鳩ヶ谷RC / 蓮田RC / 杉戸RC / 岩槻東RC) / ウクライナコンテナハウス報告 その他



ロータリー財団管理委員賞受賞作品 「幸手市民の思い」

From Governor

国際ロータリー第 2770 地区 ガバナー

細淵 雅邦
(浦和 RC)



“Perfect Accord (調和)”

ークラブ、グループ、そして、地区の一体感に向けてー

あけましておめでとうございます！
2023 年がスタートしました。

今年は干支でいうと兎年になります。十干と十二支を組み合わせた六十干支という分類では、来年は「癸卯」。「癸」は順序で言えば最後にあたり、一つの物事が収まり次の物事への移行をしていく段階。また「卯」のうさぎは「茂」という時期であり、繁殖する、増えるという段階にあたる。その両方を備えた「癸卯」は、去年までで様々なことの区切りが付き、次への成長といった明るい世界が広がっていくと解釈されることが多いようです。

第 2770 地区で、「お正月」・「うさぎ年」といえば、さいたま市浦和区に鎮座する調神社（つきじんじゃ）です。地元では「つきのみやさま」の愛称で親しまれている調神社。月と同じ読み、と云うことから月待信仰と結びつき、月神の使いである兎が守り神になりました。また、鳥居が無い神社として有名です。

さて、ガバナーとしてグループ奉仕事業、地区大会、そして、12 月 9 日にホームクラブである浦和ロータリークラブの公式訪問を終えて一段落、と書きたいところですが、公式訪問において各クラブの皆様に対し、公式訪問翌日から再スタート、気を緩めずに走って下さい、とお願いしていますので自ら小休止はありません。

残す半年、全力で向かいます。

テーマは、「“Perfect Accord (調和)” ークラブ、グループ、そして、地区の一体感に向けてー」です。
こんなことがありました。

地区大会 RI 会長代理歓迎晩餐会で出演していただいた、上野優子さんから演奏終了後にこんな一言をいただきました。「**急なリクエストでしたがジョン・レノンの“イマジン”を演奏しました。そして、イマジンを演奏しているあのひと時は、自分も会場の皆さまも一体となった空間になりました。イマジンを演奏したことですべての方の心の壁が無くなり、心が一つになる素晴らしいひと時でした**」

この言葉を聞いた時、熱いものが心に走りしました。個性ある会員同士、個性あるクラブ、お互いを尊重し認め合い、受け入れたときに、心が一つになると。

後半の 6 ケ月は、皆さんの、クラブの、グループの、それぞれの個性を尊重し、様々な壁をこえ、第 2770 地区、日本で一番一体感ある地区を目指して進みたいと思います。

今年も、全力でピョンピョンと、そして、楽しく、爽やかに走り続けましょう。

ロータリークラブの主役はクラブです。そして、クラブの主人公は会員の皆さんひとり一人です。第 2770 地区は、ロータリーの活性化と“Perfect Accord (調和)”に向け、**皆さんと共に**、輝く、魅力ある「クラブづくり」を目指します。

ガバナー補佐新年あいさつ

齊藤 茂

第1グループ ガバナー補佐



2022年～23年細淵ガバナー年度上半期を終え、いよいよ第一グループ、浦和RC、浦和東RC、浦和南RC、浦和中RC、浦和ダイヤモンドRC、5クラブはお互いに協力し合い切磋琢磨をし、各クラブ年度計画の目標達成に向かってまいります。

細淵ガバナー年度前期には、第一G・第二G各クラブ合同奉仕事業を行いました、これは前年10月8日（土）【にぎわい、にぎ愛】保護猫・保護犬・献血・うなぎ調理の弁当販売等約5,000人のご来場を頂き保護猫・保護犬のご家族にたくさん申込を頂きました。

献血に於きましては71名の方にご協力を頂き地域の方々と共に奉仕の喜びを感じ、他クラブとの会員相互の絆も深まりました。

細淵ガバナー年度後期においては、1月より各クラブ計画の奉仕事業の達成、ロータリー財団寄付

金・米山財団寄付金・ポリオ寄付金等、各クラブ年度計画を達成に向かいます。

特に会員増強には力を入れロータリー奉仕活動をご理解頂き、より多くの仲間を増やしていきます。

それには、クラブを超えたロータリアン相互の信頼と友情がなければ達成が困難です。第一G・第二G合同による相互のより信頼と友情を深める一旦とし2月17日（金）のIMを開催、地区運営方針と共にテーマを『友愛の広場・賀詞交歓会』といたしました。内容は講演

『金融機関から見た今年の経済』

講師 黒瀬浩一様（りそなアセットマネジメント株式会社）

『ロータリーに関する講演』

講師 中井啓介様（ロータリー日本事務局長）
各クラブ奉仕事業の発表（入れ替え含めて5分）
10クラブが行う。

懇談会と共に賀詞交歓会を先輩方のご協力を頂き会員相互の仲立ちをして頂くイベントを行います。

実りあるイベントと共にクラブ活性化と会員拡大を目指したいと思います。

地区委員の方々のご協力をよろしくお願い致します。

斎藤 光人

第2グループ ガバナー補佐



ロータリーファミリーの皆様、新年あけましておめでとうございます。

新たな気持ちで新年をお迎えのことと存じます。本年もどうぞよろしくお願い致します。昨年は細淵ガバナーの結団式からたくさんのロータリー活動に参加させて頂き充実した一年を送る事が出来ました。ロータリアン皆様の友情に感謝を致します。ガバナーの公式訪問ではロータリアンの皆様には大変お世話になり、各クラブの活力あふれる奉仕活動に感謝を申し上げます。

特に昨年は第一グループ、第二グループの合同奉仕活動でたくさんのロータリアンの皆様の協力を頂き、保護犬、保護猫、うさぎ、の譲渡活動、日本赤十字社への献血協力で社会貢献と第一グループと第

二グループのロータリアンの更なる強い絆が出来ました。更に地区大会での各グループの奉仕活動の発表ではロータリアンの皆様には高い評価を頂きありがとうございました。

新年を迎え、本年度も後半6か月となりました。引き続き、クラブ新会員の増強と退会防止へのご尽力をよろしくお願い申し上げます。

更なるお願いですが、ロータリー財団と米山奨学会へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

今年の2月17日の第一グループと第二グループの合同インターシティーミーティング（IM）へのご協力と大勢のロータリアン皆様の参加をどうぞ宜しくお願い致します。本年度の（IM）は盛大な名刺交換会とビジネスセミナーそしてロータリー勉強会と3大イベントを企画しております。

新年の1月は職業奉仕月間です。職業奉仕はロータリーの核心であります。

ロータリーにおける職業奉仕活動が土台となり社会貢献、地域社会奉仕活動が行うことが出来ます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

今年もロータリーの友情に感謝を致します。

黒白 秀之

第3グループ ガバナー補佐



細淵雅邦ガバナー年度も上期を終えて折り返し地点へと差し掛かりました。7月の初例会から公式訪問、グループ奉仕活動、地区大会とガバナー補佐として沢山の例会や活動に関わらせて頂きました。その中でもグループ奉仕活動として、第一弾「ポリオ根絶募金活動・打ち水大作戦」第二弾「第二回ポリオ根絶チャリティークラシックカーラリー」第三弾「大宮公園舟遊池の大かいぼり」と三つのグループ奉仕活動を実施いたしました。「やりすぎ」という声が何処からともなく聞こえてきそうですが、本年度、会長、幹事会の中でクラブ内の繋がりは勿論のことクラブ間の横の繋がりも大切にしようと、グループ奉仕活動への理解を頂きました。3奉仕事業

ともポリオ根絶を訴えさせていただき、温かいご支援を頂き多くの募金を財団へご寄付させて頂きました。そして何より活動を通じてロータリアンの皆さんが、各クラブ会長、幹事を盛り立てようと奮闘する姿に大変感銘を受けました。また、クラブを超えてロータリアン同士が交流を深めていたことが、この奉仕活動の何よりの目的だったのではないのでしょうか。

今後は、2月にはインターシティーミーティングを行う予定でございます。内容については、ロシアがウクライナ侵攻し10ヶ月が経とうしていますが、未だに終息の気配が見えず今でも何の罪のない方々が犠牲になっています。今回は2014~2019駐ウクライナ特命全権大使、角茂樹氏の講演を頂きます。ロシア、ウクライナ問題について個人として、またロータリーとして共有課題を見付けることが出来ればと考えています。そして5月にはウクライナ避難民チャリティーゴルフコンペを予定しております。

下期に入りましても数々の活動がございますが、ロータリアン皆様方のご理解ご協力の程、どうぞよろしくお願い致します。

内山 泰成

第4グループ ガバナー補佐



新年明けましておめでとうございます。希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと存じます。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

昨年はIMをグループ合同奉仕事業として実施いたしました。第4グループでは、「森を守ろう、自然を楽しもう」と題し、秋葉の森総合公園において生態系保護の観点から環境を考える企画といたしました。

さいたま市、さいたま市教育委員会、生態系保護協会、青少年育成会をはじめ多くの皆様のご支援ご協力のもと各クラブ会員やご家族の皆様、総勢で約300名の皆様と、楽しく奉仕事業を実施することができました。参加者の皆様に於かれましては誠にありがとうございました。

そして地区大会の発表では、今年度RIテーマ

「イマジンロータリー」の実現を目指し、熱い想いを胸に事業展開をしたことが評価されIMAGINE賞を受賞させていただきました。

この事業を通じて各クラブが協力し、クラブの垣根を超え一致団結することが出来たと確信しております。

さて後半戦の本年でも、その輪をさらに広げ各クラブの活性化に繋がればと考え、先ずは合同新年会を実施し、グループ全体で新年を祝い親睦を深める機会としたいと思います。

また、公式訪問クラブ協議会で話合われた内容で、クラブの方向性のヒントとなったところを、進めていくのも大切なことだと考えます。会長幹事会においても、引き続き各クラブの戦略計画についても話し合っていきたいと思っております。互いの良いところを学び、そして切磋琢磨し、クラブ活性化の一助となればと考えます。

本年も余すところなくロータリーを楽しみ、DEIを推進し、爽やかな風が流れるクラブづくりに、貢献できればと思います。

最後になりますが、第4グループの会長幹事様をはじめ会員各位のご支援ご協力をお願い申し上げます。

那須 敬明

第5グループ ガバナー補佐



新年明けましておめでとう御座います。

5グループのガバナー補佐を7月から仰せつかり半年が過ぎましたが上半期は合同奉仕活動でのポリオデー共同募金、山中湖での上尾3クラブ合同ワカサギ釣りそして地区大会等、参加ご協力頂きまして、ありがとう御座いました。各クラブの公式訪問も昨年中に終わりあつという間に過ぎた半年でした。ここでやっとひと段落ついた感がありますが今年、下

半期早々、2月17日に2年間コロナの影響で行われなかったインターシティミーティングを上尾市文化センターで行います。未だIMの打ち合わせや準備に追われていますが、今回のIMは会員同士の親睦をさらに深めて頂くために、3年ぶりに懇親会を行います。いまだ、感染者の数は増加傾向にありますが、万全の対策を講じながら行いますので多数のご来場をお待ちしています。又当グループでは周年事業を行うクラブが4クラブ有り何かと忙しいとは思いますが今年残り半年、至らない点が多々有ると思いますが昨年に引き続きご協力宜しくお願いします。

5グループ各クラブの益々の発展と会員皆様のご健勝をお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

小林 久純

第6グループ ガバナー補佐



Best wishes for a successful and rewarding year.

ロータリークラブ会員の皆様におかれましては健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。さて、細淵ガバナー年度も残すところあと半年ばかりとなりました。昨年は、グループごとの合同奉仕事業、グループチャリティーゴルフの開催にあたり、第6グループのロータリークラブ、会員の皆様より、多大なるご協力をいただき誠にありがとうございました。インターシティミーティングと同日に実施させていただいた合同奉仕事業は、インターシティミーティングと同日に春日部フィルハーモニー管弦楽団の皆様による無料チャリティーコンサートを開催させていただきました。当日、一般のお客様、ロータリークラブの会員の皆様にウクライナ難民を

支援するための寄付をお願いさせていただきました。

現在、皆様よりお預かりいたしました寄付をウクライナの隣国で難民を受け入れているポーランドのロータリークラブを介して難民の支援に充てるべく作業を進めております。今回の合同奉仕事業は、十分な準備期間が取れず、至らない点が多々あったとは思いますが、しかしながら、グループ内のクラブが一丸となり、地域の皆様に対して奉仕活動を行えたこと、独自に海外のロータリークラブと連絡をとり国際的な奉仕活動となったことで、クラブの会員の皆様におかれましては大きな達成感が得られたのではないのでしょうか。また、今後のロータリーの活性化につながっていくのではないかと思います。

年明けとともに次年度に向けての準備が始まる時期ではありますが、細淵ガバナー年度は残りの六ヶ月あります。グループ内には、周年の式典を予定しているクラブ、新たな奉仕事業を予定しているクラブがあり、これからが新たな始まりであり、道のりはまだ半ばであります。会員の皆様と共に、ロータリーを活性化し、より良い活動を行えるよう努力していきたいと思ひます。

小林 達郎

第7グループ ガバナー補佐



新年明けましておめでとうございます。昨年は、多くの皆様大変お世話になり、ありがとうございました。御礼申し上げますと共に本年もよろしくお願いします。

今年度は、細淵ガバナーより、グループ単位で合同奉仕事業を行ってほしいとの方針が示され、第7グループでは、JR久喜駅西口、東口でポリオ撲滅募金活動を行いました。西口を蓮田RC、久喜RC、東口を幸手RC、幸手中央RCと役割分担をし、ロータリーメンバーだけでなく、地元のボーイスカウトの皆さんやクラブ所属の米山奨学生にも参加頂き、楽しく募金活動を行うことができました。その後、久喜市の三高サロンで、工藤ポリオプラス委員長に世界でのポリオ現状や基本的な知識の卓話を頂き、ワクチン投与の大切さを再認識しました。また、参加メンバーの真剣な姿勢に感銘し、久しぶりの4クラブ合同奉仕事業で、各クラブ同士の懇親

とクラブの活性化に寄与できたと思います。

そして、この間、細淵ガバナーによる各クラブへの公式訪問例会が行われ、ガバナー卓話、クラブ協議会により、細淵ガバナーの人となりやロータリー活動に対するアドバイスなどをお聞きし、感動や刺激を受けたと思いますし、私自身もそのように感じました。

さて後半戦の本年ですが、各クラブの活性化と親睦をいかに深めるかを考え、活動したいと思います。具体的には、3月4日の第7グループのIMでは、浦和ダイヤモンドクラブの佐藤恵さんを講師にお迎えし、「社長の声のチカラで会社が変わる」という題目で講演を頂き、メンバーの皆さんが新しい気づきに繋がることと、コロナの感染具合によりありますが、できれば、その後の大懇親会を開催し、親睦が深まればと考えております。

また、各クラブさんでは、公式訪問クラブ協議会で話合われた方向性を進めていくのも大切なことだと考えます。会長幹事会では、各数値目標の再確認や各クラブの情報交換など、DEIを推進し、爽やかな風が流れるクラブづくりに、貢献できればと思います。

最後になりますが、第7グループの会長幹事様をはじめ会員各位のご支援ご協力をお願い申し上げます。

株竹 眞次

第8グループ ガバナー補佐



明けましておめでとうございます。

新年を迎え、ご健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、第8グループ上半期は皆様のご理解とご協力の下、ポリオ根絶活動を合同事業とし、市民祭りでの募金活動、その約2週間後には南越谷駅周辺での5クラブ合同の募金活動、同日、チャリティコンサート及び合同例会を南越谷サンシティ小ホールにて開催致しました。

この活動を実現するため2022年3月の第1回会長幹事会から審議を重ね、5クラブに異なった役割を果たす委員会を受けて頂き、各クラブが纏まって1つの事業になるように、合同事業として5クラブの皆様が参加出来るように検討を重ねました。

チャリティコンサートでは、核となるアマチュアの5グループの方々に今回の趣旨をご理解頂き、開催する事が出来ました。参加して頂いたグループの皆様には感謝をしております。

募金活動には市内インターアクトクラブ、ロータリーアクトクラブの皆様にもご協力をいただき大きな成果を上げる事が出来ました。

そして、その1週間後には地区大会となりグループ合同事業の成果を発表する時間をいただき、結果としてポリオ根絶賞を細淵ガバナーから頂くことが出来ました。

ご協力を頂いた皆様に感謝申し上げます。

他にも第8グループでは、各クラブごとの継続事業として、市内中学校参加のジュニア甲子園（少年野球大会）、少年サッカー大会、市内高等学校9校による高校野球大会等があり、大きな成果をあげていました。

地区大会が終わり一息入れる間もなく、1月28日（土）開催のI.M.実行委員会が動き始めました。第8波のコロナ禍を鑑み、委員会にて審議を重ね、皆様から賛同していただける様なI.M.になるようにと考え、開催いたしますのでよろしくお願いいたします。またI.M.記念ゴルフ実行委員会（3月16日開催）もすでに動き始め、ご案内の準備中ですので宜しくお願い致します。

最後に下半期は充実した一年となるよう、引き続きご尽力をいただき、思い出に残る年度となる事を願っております。また私自身も地区と各クラブの懸け橋として同様に頑張っておりますのでご協力をお願い致します。

齋藤 幸子

第9グループ ガバナー補佐



第9グループは6クラブ、会員数は117名(2022年12月現在)のグループです。

ガバナー補佐を拝命して半年、時が瞬く間に過ぎました。各クラブの第一例会に始まり、ガバナー公式訪問例会に出席し、そして9グループの合同奉仕活動事業の実行とその発表を地区大会で行いました。グループ会員の皆様にご協力を頂き、滞りなく終えることが出来ました。

第1例会では、各クラブ共に新会長、幹事のもと、今年度への活動に対する意気込みが伝わってまいりました。ガバナー公式訪問例会では細淵雅邦ガバナーの熱のこもった卓話のお陰で、今年度のRIのテーマやDEIの推進、2770地区の活動方針・運営方針など理解を深めていただけたと思います。

地区大会での発表に向けて、第9グループの奉仕事業活動はDEIの推進に沿ったテーマと思い「LGBTQ」の問題に取り組みをさせていただきました。

草加市では2021年12月から、八潮市は2022年4月からパートナーシップ宣言制度が導入されました。制度導入に当たって会議が重ねられましたが、その一員として参加する機会をいただきました。何人かのLGBTQの方に実情を伺い、社会の無理解さから悩み、苦しみ、生きる希みを失い自死を考えることがあった等の訴えを聞きました。人口の5%から10%は存在すると言われているLGBTQの方々への理解は一人でも多くのロータリアンに深めていただきたいと思います。

第9グループ奉仕事業活動は、「それぞれの生き方を支援しよう」というテーマで、啓発活動を行っている「レインボーさいたまの会」佐々木事務局長を招き、講演をいただき、その後、行政の方、細淵雅邦ガバナーにも参加いただき、パネルディスカッションを行いました。会員はもとより地域の方、高校生、他グループのメンバー等、大勢の方々の出席をいただきました。パネルディスカッションでは、細淵雅邦ガバナーから「LGBTQの課題はロータリーのみならず社会全体で取り組まなければならない」とご意見を頂戴しました。そして、地区大会ではダイバーシティ賞をいただきました。

年度後半は6クラブのクラブと会員の活性化を願い、活動の助力になるようにしてまいります。そしてIMの準備に取り組んでいますが、第9グループ会員の協力をいただき、成功裡に終了できるように力を合わせていきたいと思っています。

尾ヶ井 實

第10グループ ガバナー補佐



上半期を振り返り、私がガバナー補佐を拝命して早いもので6ヶ月になります。スタート前から細淵ガバナーから今年度のガバナーの抱負やら、ガバナー補佐会議において責務等幾度となく開催されました。最初はロータリアンとしての認識不足からとガバナー補佐の重圧から色々勉強する事が多くありましたが、令和4年3月28日第10グループの会長幹事の皆さんに集まって頂き、第一回目の会長・幹事会を開催しました。私の自己紹介から始まり第10グループ会長・幹事の自己紹介と補佐幹事の自己紹介等から始まりました。私の挨拶の中では今年度の地区の目標、細淵ガバナーの抱負等第2770地区の活動報告のお話をさせていただきました。中でも今年度は、11月の地区大会にて各グループ毎に合同で奉仕活動を実施してその報告の場にして欲しいということでした。グループ合同での奉仕活動は私の記憶では一度も無かったと思います。初めての会長・幹事会でのこの報告をしましたが、皆さん内容が読めないようでした。私が理解している程度でお

話をしました。

第10グループの会員合同で行なうということでしたので私自身もそうですが、各クラブの高齢化が挙げられ、それに伴い例会への参加も低下しています。翌年にはIMがありまた会員の皆さんに集まって貰わなければなりません。そこで私はIMと奉仕活動を一度に実施していただけないかと提案しました。この話し合いが上半期を通して第2回から第6回とほとんど費やしました。その甲斐があつて11月5日に実施する事が出来ました。第10グループの会長・幹事をはじめ会員の皆様本当にありがとうございました。実施して私の感想は、IM・合同奉仕活動がロータリアンだけの集まりではなく、やはり地域の為に活動(清掃作業も含む)をして地域の方々とのコミュニケーションを取ることが、これからは必要だと感じました。

下半期に向けた抱負ですが、前期で体力の大半を費やしたせい後半への思いがやや低下しています。私の中には後期には、各クラブの交流、まずは10グループの会員同士の交流会、合同例会等を計画して、交流を深めるようにしたいです。また第10グループの会員が他グループのクラブへの交流等実施して欲しいと思います。その橋渡し役の6ヶ月にしたいと考えています。第10グループの会長・幹事の皆さん自クラブの皆さんにどんどんお声がけして忘れかけていたロータリーライフを楽しんで貰いたいと思います。

伊藤 高太郎

第11グループ ガバナー補佐



半年を振り返るというタイトル、補佐としてはガバナー訪問も終わり、あとは2月25日のIMということになります。ガバナー補佐を受けたとき、補佐として考えたこと。それは、全体の会員数が減少し続けていること、それに伴うクラブ当たりの会員数が減って運営が厳しいクラブが多々あることに思いが馳せました。昔の一業種一人のルールで新クラブを作らなければ会員の拡大ができなかった時代から、増強の努力しなければ減少し続けていく今の状況。増強、増強で入会しても、ロータリーの素晴らしさを感じられず退会したり、幽霊会員になってしまふ。クラブの自己責任のように考えがちですが、時代の大局に立った地区クラブ編成をしないと会員のサービスにつながらない衰退したロータリーのま

まになるのではないかと。また上に立つ人の責任でもあると感じていました。

こんな漠然とした思いで補佐に就任しましたが、よく見ぬ世界、他クラブに訪問していくうちに、どのクラブも一生懸命に活動している姿を拝見して、軽々には自分の思いを打ち出すことをためらうようになりました。細淵ガバナーのロータリーの主体はクラブ、クラブの主人公は会員一人一人、グループ共同奉仕で、クラブ間の交流の大切さを示し、人間力を磨くクラブ活動、奉仕活動という考えに感銘を受けました。といっても会員数はクラブ運営にかかわる大きな要素です。呼べる卓話者の質にも大きな違いが出てきます。そしてメーキャップの勧め、浦和ロータリークラブにメーキャップ。未だに私も行っておりませんが、ロータリークラブの一つの姿を全員に見てもらい何かを感じてもらいたいのではないでしょうか。同時に浦和クラブの若い会員に多くの人と名刺交換してもらうチャンスを提供していることにもなります。

後半戦の抱負、メーキャップを推進してクラブ間の交流を活発にする事を掲げます。

金子 篤徳

第12グループ ガバナー補佐



新年明けましておめでとうございます。昨年を振り返りますと公式訪問や非公式でのグループ内、各クラブ訪問、諸会議、セミナーに参加など、そして細淵ガバナーのグループ別合同奉仕事業開催の提案を受けた地区大会に向けての発表と多忙でした。12グループでは早々に会長幹事会を開き、コロナ禍を予想し感染対策を考慮した事業計画を検討。まず室内での集会をさけ、人と密にならないように屋外で且つ天候に左右されない奉仕事業、一般市民も参加でき各市に啓発効果があること。結果、ピンクリボン運動を展開することになりました。この運動は、1980年代、アメリカの乳がんで亡くなられた患者さんの家族が「このような悲劇が繰り返されないように」との願いを込めて作った「リボン」からスタートした乳がんの啓蒙運動です。欧米における事情をみますと最も重要な女性の健康問題として認識されており様々な運動や施策により、結果、早期発見に

より乳がん死亡率が低下しているとのことです。

日本に於いて女性のがん罹患率トップであり働き盛りである30歳から65歳女性の乳がん死亡原因の第一位となり大変な勢いで増加しています。欧米の乳がんマンモグラフィー検診受診率が約80%に達しているのに対して、わが国での乳がん検診受診率約40%前後ということで「ピンクリボン運動」は乳がんへの理解、早期発見・治療の重要性を知ってもらうことができ、多くの方の参加しやすい啓発活動であります。私達12グループはピンクリボンに込めたメッセージを広めるべく、リアルウォークにより開催、スタートしました。当日の参加者は300名。この合同奉仕事業により12グループ戸田・蕨・川口各クラブの連携は強まり、且つ協力していただいた各関係団体や一般市民の皆様への啓発効果もあがり、そして私達ロータリークラブへの認識も広まったようにおもわれます。

今年度の下期は2月4日に開催するインターシティミーティングを中心に活動します。DEI推進にそって「地域に密着した奉仕活動を学ぶ」。各クラブより推薦された奉仕団体の皆様より活動内容を報告していただき勉強させていただきます。地域に根ざした奉仕活動を知り、且つ会員との交流を通じて広くロータリーを知ってもらいたく、今年度のIMを開催します。

グループ奉仕事業

第一グループ・第二グループ合同奉仕事業

プロジェクト名 『にぎわい、にぎ愛』

第一グループガバナー補佐 齊藤 茂

第二グループガバナー補佐 斎藤 光人



10月8日（土）第1G・第2G、10クラブ合同奉仕事業を浦和駅東口駅前市民の広場（浦和駅東口パルコ前広場）におきまして開催致しました。献血及び保護犬・保護猫・保護うさぎの譲渡会を中心に、地域に愛溢れるにぎわい、にぎ愛を創出いたしました。

埼玉県・さいたま市浦和区・一般社団法人「ねこかつ」他多数の動物保護団体及び動物病院・埼玉県赤十字血液センター・浦和のうなぎを育てる会・さいたま竜神まつり会のご協力の下、5,000名を超える方々のご来場を頂き盛大に開催できました。市内の小学生へ25,000枚ものチラシ配布の効果もあり、多数の子どもたちも、来場してくれました。未来の大人たちである青少年に、地域の問題を知ってもらう機会となりました。来場プレゼントとして用意した1,500個の缶バッジも全て配布することができました。

さいたま浦和市立高等学校の先生と生徒の皆さん、与野淑徳高等学校の生徒の皆さん、ローターアクト、交換留学生の皆さんをはじめたくさんの皆さんの好意と友情によって素晴らしい奉仕活動が開催できました。多数の青少年が、殺処分の現状と、これを回避するためにすべきことを学ぶ機会にもなり

ました。約600枚もの保護犬・保護猫・保護うさぎの幸せを願っての短冊も集まりました。

初めての10クラブ合同奉仕事業であり、各クラブの会長さんをはじめクラブ会員の皆様のご協力は必至でありました。各クラブの会員の皆さんはもちろん、第G補佐幹事時友正孝会員・第2G補佐幹事黒木順一会員のお二人のご苦勞には大変感謝しております。

当日、保護犬約30頭、保護猫約80頭の合計110頭もの譲渡会では、約30頭に里親希望者があられました。そのほか後日お返事をするの方も多数おられます。献血につきましては予定者を上回る71名に協力いただきました。

地域の問題ともいえる保護犬・保護猫・保護うさぎを思いやり、その思いが献血にもつながり、ロータリアンが地域住民、青少年たちと手を握り合うようになにぎわいとなりました。この度の事業では、各方面から20以上の団体の方々から、ご尽力を頂きました、お礼をもって報告とさせていただきます。

なお、ポリオ募金につきましては133,212円のご協力があり感謝申し上げます。

第9グループ

「それぞれの生き方を支援しよう」LGBTQの理解を深めるために

第9グループガバナー補佐 齋藤 幸子

第9グループは6クラブ、会員数は117名(2022年12月現在)のグループです。

ガバナー補佐を拝命して半年、時が瞬く間に過ぎました。各クラブの第一例会に始まり、ガバナー公式訪問例会に出席し、そして9グループの合同奉仕活動事業の実行とその発表を地区大会で行いました。グループ会員の皆様にご協力を頂き、滞りなく終えることが出来ました。

第1例会では、各クラブ共に新会長、幹事のもと、今年度への活動に対する意気込みが伝わってまいりました。ガバナー公式訪問例会では細淵雅邦ガバナーの熱のこもった卓話のお陰で、今年度のRIのテーマやDEIの推進、2770地区の活動方針・運営方針など理解を深めていただいたと思います。

地区大会での発表に向けて、第9グループの奉仕事業活動はDEIの推進に沿ったテーマと思い「LGBTQ」の問題に取り組みをさせていただきました。

草加市では2021年12月から、八潮市は2022年4月からパートナーシップ宣言制度が導入されました。制度導入に当たって会議が重ねられましたが、その一員として参加する機会をいただきました。何人かのLGBTQの方に実情を伺い、社会の無理解さから悩み、苦しみ、生きる希

みを失い自死を考えることがあった等の訴えを聞きました。人口の5%から10%は存在すると言われているLGBTQの方々への理解は一人でも多くのロータリアンに深めていただきたいと思います。

第9グループ奉仕事業活動は、「それぞれの生き方を支援しよう」というテーマで、啓発活動を行っている「レインボーさいたまの会」佐々木事務局長を招き、講演をいただき、その後、行政の方、細淵雅邦ガバナーにも参加いただき、パネルディスカッションを行いました。会員はもとより地域の方、高校生、他グループのメンバー等、大勢の方々の出席をいただきました。パネルディスカッションでは、細淵雅邦ガバナーから「LGBTQの課題はロータリーのみならず社会全体で取り組まなければならない」とご意見を頂戴しました。そして、地区大会ではダイバーシティ賞をいただきました。

年度後半は6クラブのクラブと会員の活性化を願い、活動の助力になるようにしてまいります。そしてIMの準備に取り組んでいます。第9グループ会員の協力をいただき、成功裡に終了できるように力を合わせていきたいと思っています。

国際ロータリー 第2770地区 第9グループ
グループ奉仕活動

テーマ
「それぞれの生き方を支援しよう」
セクシャルマイノリティ(LGBTQ)の
理解と行動

2022年 **10月30日(日)**
14:00~16:00(13:30開場)

参加無料

講演者 **佐々木りん氏** (レインボーさいたまの会 事務局長)
レインボーさいたまの会は、性的少数者や支援者の居場所づくりや、理解を求める学習会など地域社会へのLGBTQ啓発活動を通じ、多様性を愛する地域社会の構築を推進している団体です。

定員 **80名** 会場 **草加市立中央公民館 3階 講座室** 申込方法 **参加には事前申込みが必要で、主催のロータリークラブへお申込みください**

主催 **国際ロータリー 第2770地区 第9グループ**
八潮ロータリークラブ、八潮イブニングロータリークラブ、草加中央ロータリークラブ、八潮みらいロータリークラブ、草加佐野ロータリークラブ、草加シティロータリークラブ

Rotary イマジン ロータリー

お問い合わせ TEL.048-935-0684 (草加シティロータリークラブ事務局)



第12グループ

ピンクリボンウォーク in 戸田・蕨・川口 2022

第12グループガバナー補佐 金子 篤徳

秋空に恵まれた10月29日(土)、国際ロータリー第2770地区第12グループ合同主催による「ピンクリボンウォーク in 戸田・蕨・川口」が戸田市内で行われました。当日は、国際ロータリー第2770地区細淵雅邦ガバナーがご臨席され「ピンクリボンオンラインウォーク&ラン in 埼玉」にエントリーされた方を含む約300名のロータリークラブメンバーや市民が参加されました。

今回のピンクリボンウォークは、戸田・蕨・川口の合同の為、各クラブ異なる地点からスタートされ、戸田中央健康管理センターをゴールまたは経由地とし、約5kmをウォーキングいたしました。ゴール・経由地となった戸田中央健康管理センターでは、ドーナツ・飲料・タオル等の参加賞を配布し、暖かいコーヒーを振舞いました。同施設駐車場では、感染対策を講じた上で乳がんに関するパネル展示、疑似乳房触診体験、自己検診体験などを設け、看護師や看護学生らが乳がんの正しい知識や情報を説明しました。また、同施設内にある中村隆俊記念館にて中村隆俊名誉会長のこれまでの歩みや功績、美空ひばりとのゆかりの品や8月に除幕式をおこなった胸像などをご覧いただきました。

さらに、「QUEEN OF THE UNIVERSE」のファイナリスト7名がゲスト参加され、乳がんの早期発見・診断・治療の重要性をアピールしていただきました。

今後ともひとりでも多くの方が乳がんで命を落とすことがないよう、埼玉県全域の乳がん検診率アップを目指して、引き続きピンクリボン運動に取り組んでまいります。



ガバナー公式訪問

川口 RC

会長 白井 靖
幹事 中村 大輔

例会曜日・時間： 木曜・12:30 - 13:30
例会場： 銀座アスター 川口賓館



10月13日木曜日に細淵雅邦ガバナーの公式訪問がおこなわれました。

例会前の懇談会に細淵雅邦ガバナー、伊藤高太郎ガバナー補佐、鶴見一也副幹事をお迎えしました。懇談会では、クラブの現状、会長・幹事・会長エレクトの考えをお聞きいただき前向きなアドバイスを頂きました。

例会では【RIテーマと地区運営】についてDEIのお話を中心にわかりやすく卓話をいただきました。

クラブ協議会では各委員長の活動計画の発表に対して、丁寧なアドバイス・コメントを頂戴し、今後のクラブ運営に貴重な示唆を頂きました。

細淵雅邦ガバナーより「ガバナー訪問後が新たなスタートで、残りの9か月を全力で頑張ってください。」と頂きました。その言葉を受けて65周年の森年度に繋げたいと思っております。長時間でしたが、貴重なご意見有難うございました。感謝申し上げます。

gallery

副幹事取材



<懇談会>



<会長挨拶>



<例会>



<クラブ協議会>



<事務局>



<食事>

岩槻 RC

会長 鈴木 真樹
幹事 小林 篤

例会曜日・時間： 木曜・12:30 - 13:30
例会場： 料亭ふな又



令和4年10月27日(木)細淵雅邦ガバナー、内山泰成第4グループガバナー補佐、小宮泰二地区副幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

例会に先立っての懇談会では会長・幹事ほか次年度会長も交えて穏やかな時間を共有させて頂きました。

例会では、細淵雅邦ガバナーの自己紹介から始まり、ジェニファー E. ジョーンズ RI 会長の方針や地区運営方針について分かりやすくお話し頂きました。ロータリーはクラブが主役であり、また会員一人一人が「人間力」を磨き上げましょうというお言葉を頂きました。お話を聞いている

うちに段々と引き込まれていく魅力ある方だと印象に残りました。

クラブ協議会では各委員長より活動計画を発表し、ガバナーより委員長一人一人に丁寧な講評を承りました。頂いた講評をクラブ活性化に努めながら今後のクラブ運営に大いに活かしていきたいと思っております。

細淵ガバナー、内山ガバナー補佐、小宮副幹事、ご多用の折にもかかわらず長時間に渡り誠にありがとうございます。会員一同心より感謝申し上げます。

gallery

副幹事取材



<懇談会>



<会長挨拶>



<クラブ協議会>



<事務局>



<クラブビジョン>



<ガバナー卓話>



<クラブ協議会>



<食事>

春日部南 RC

会長 伊澤 秀雄

幹事 清水 良順

例会曜日・時間： 水曜・12:30 - 13:30

例会場： むさしビル 3F



2022年11月2日(水)に細淵雅邦ガバナーに訪問頂き、ご指導ご助言をいただき大変ありがとうございました、これを真摯に受け止め、今年度の残った会長職に生かしていきたいと思っています。

ガバナー卓話にも感銘を受けました、特に原稿なしでのお話には感激いたしました。又、ロータリークラブは会員一人一人が主人公と述べていました、大変参考になりました。

それから、事務局員に対する感謝の気持ちや考えも大変参考になりました。私も今後ともこの考えに沿って行動をとっていききたいと思います。

又、私が質問させていただきました、例会での他業態との交流についても、ご助言いただいた通り慎重に検討し行いたいと思います。

本日は大変ありがとうございました。

gallery

副幹事取材



<懇談会>



<例会>



<クラブ協議会>



<事務局>



<食事>

大宮シティ RC

会長 男澤 望

幹事 山岸 和美

例会曜日・時間： 水曜・19:00 - 20:00

例会場： パレスホテル大宮



11月7日(月)、細淵雅邦ガバナー、黒白秀之第3グループガバナー補佐、田中勇一地区副幹事をお迎えしてガバナー公式訪問例会を開催致しました。

懇談会の前に例会場のスクリーンの位置等をきめ細かくご確認され、公式訪問に対しての真摯なお姿に一層緊張感を感じましたが、対話を大切にしながら進めていただいたおかげで、クラブ運営のことを本音でお話、ご相談することが出来ました。

クラブ協議会は、途中コーヒープレイクをはさみ進行し、事業計画発表の委員長に的確なアドバイスをいただき、今

後の各委員会活動の糧となったことを確信致しました。

その後お隣のお部屋に移動し例会となりました。ガバナー卓話として細淵ガバナーのこれまでのオリンピック等の国際的な活躍、ガバナーご就任までの経緯、そしてRI会長の方針やDEI推進について等を丁寧に、そしてスポーツマンシップの気持ちが溢れるお話の仕方に、例会場の会員がひとつになり聞き入っていたことがとても印象的でした。

主役はクラブ！その主人公は会員！細淵ガバナーのお言葉を胸に刻みこれからも邁進して参ります。

gallery

副幹事取材



<懇談会>



<会長挨拶>



<例会>



<クラブ協議会>



<事務局>



<食事>

川口シティ鳩ヶ谷 RC

会長 今井 雅彦

幹事 峯 節

例会曜日・時間： 火曜・12:30 - 13:30

例会場： 鳩ヶ谷合同ロータリークラブ事務所



2022年11月8日（火）細淵雅邦ガバナー、伊藤高太郎ガバナー補佐、相川信司地区副幹事をお迎えして、公式訪問を開催する事ができました。

懇談会では、各クラブとの交流で、会員同士の繋がりをより深くし、輪を広げていくことと、今年度も既に半年近く経過しておりますが、会長・幹事・会長エレクトは今が7月1日と思って、更なる努力を重ねるように、それがクラブの活性化につながっていくとのご指導を頂きました。

ガバナー卓話では、自己紹介で、ロータリークラブ会長と、国際ポート連盟理事を兼務なさったこと等々・・・お話しくさしました。

クラブ協議会においては各部門長の報告に丁寧なアドバイス頂きました。厳しさの中にも細淵ガバナーのやさしいお人柄が滲み出るような一言一言でした。このたびのご訪問に心より御礼申し上げます。

gallery

副幹事取材



<懇談会>



<例会>



<ガバナー卓話>



<会長とガバナー>



<食事>

蓮田 RC

会長 栗原 均

幹事 栗原 比呂志

例会曜日・時間： 水曜・12:30 - 13:30

例会場： 魚庄 別館 2F



11月9日、細淵ガバナー、小林ガバナー補佐、鶴見地区副幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問例会を開催致しました。

地区事務所よりクラブ幹事のスマホに電話があり、ガバナーは交通渋滞に嵌まり少し遅れると連絡が来しました。焦る小林ガバナー補佐、当クラブ幹事！懇談会は予定より10分遅れで始まりましたが、中身の濃いガバナーとの懇談が出来ました。

ガバナーはコロナ渦の中でも奉仕を大切に同じ目標に向かい、クラブ全体で熱い想いで頑張れと、また、グループ内、地区でも会話、対話をして活動し、3年～5年のビジョンを作り、次年度、その先へバトンをしっかりと渡し

てくださいと、励ましをいただきました。

例会卓話ではガバナーの会場全体を使った卓話で、私にとりガバナーショーのような感じがして、会員は居眠りせずに楽しそうに拝聴いたしました。

クラブ協議会では各委員長に丁寧なコメントをいただき、大変有意義な内容になり、今後のクラブ運営に役立つものと思います。

会員一人一人と名刺交換、事務局への心遣いとガバナーに感謝申し上げます。

最後に会場設営してくださった会員皆様、感謝を申し上げます。

gallery

副幹事取材



<懇談会>



<入会式>



<例会>



<クラブ協議会>



<事務局>



<食事>

杉戸 RC

会長 中川 定雄

幹事 下津谷 忠史

例会曜日・時間： 木曜・12:30 - 13:30

例会場： 埼玉縣信用金庫 杉戸支店 2F



11月10日(木) 細淵雅邦ガバナー、熊坂創地区副幹事、小林久純ガバナー補佐を迎え会員31名、事務局1名参加によるガバナー公式訪問例会が開催されました。

中川会長は挨拶の際、以前浦和に住んでいて細淵ガバナーを以前から存じ上げ親しみを感じているなど述べられました。その後青少年交換留学生でチェコから来たディヴィッド君の紹介や新会員の坂田さんの入会式が行われました。

卓話では細淵ガバナーが最近チェコに行った際、交換留学生で現地に行っている阿部君に何度も電話していただき、「学んだことは直ぐには役に立たないかもしれないが、数

年後もしくは数十年後に生きてくるので1年間楽しみつつ頑張らなさい」と激励を頂き感謝申し上げます。

ご自身の経歴にも触れオリンピックやパラリンピックは人間力を高めることができる、ロータリークラブも人間力を高める場であるという言葉がとても印象的でした。また地区がクラブを支えて下さるという心強い方針も教えていただきました。

事務局にも温かい言葉をかけて下さりありがとうございます。盛りだくさんの内容で大勢の会員に参加をいただき、素晴らしいDEI(出会い)の場となりました。

gallery

副幹事取材



<会長挨拶>



<クラブ協議会>



<食事>

岩槻東 RC

会長 加藤 哲男

幹事 飯淵 昭二

例会曜日・時間： 火曜・12:30 - 13:30

例会場： さいたま市民会館 いわつき



去る11月15日(火)は、地区大会が盛大に終わったばかりで、未だ疲れも取り切れていない中、そして今までとは打って変わって雨の中での公式訪問でした。

早朝より、細淵雅邦ガバナー・内山泰成ガバナー補佐・佐藤亮副幹事様には、一日、我が岩槻東ロータリークラブの為に、お越し下さいました。朝の懇談会から始まり、例会には初の女性RI会長ジェニファー・ジョーンズ氏の「イマジン・ロータリー」の想いや中身の濃い卓話を聞かせて

頂きました。そして午後のクラブ協議会へ引続きの活発な懇談を開催出来ました。ガバナーからは、組織についてのスリム化など、幾つかのアドバイスを頂戴致しました。今後のクラブ運営の参考にさせて頂きながら、会員増強に力を入れ、今まで以上に活発にクラブ運営を行っていきたいと考えます。終りに事務局へのご配慮も有難く感謝の想いで、会場内が和やかな雰囲気になりました。

gallery

副幹事取材



<懇談会>



<会長挨拶>



<事務局>



<協議会>



<プレゼント>



<食事>



<デザート>

ウクライナコンテナハウス報告

ウクライナ・モジュラーハウス建設支援の災害救援補助金の経過をご連絡します。

8月25日、2750地区田中委員長より災害救援補助金申請が完了しました。

8月27日、TRFが申請を受理、承認しました。

9月2日、追加書類OFACを田中委員長がTRFに提出されました。

9月14日、TRFより2750地区の口座に5,560,000円（139円/\$）入金がありました。

現在、田中委員長によりウクライナへの送金手続き中です。近日中にウクライナに送金されます。

後少しくこの支援は完了できます。今後とも宜しくお願いします。

尚、ウクライナのモジュラーハウス建設のチームから台風のお見舞いがありましたので下に添付します。

Dear our Japanese partners!

We've info about Typhoon Nanmadol. I really don't understand how we can help you. We pray for your lives and hope that you will be in safe. But I have one suggest, which I had understand from real war situation in Ukraine. If you are living in zone of Typhoon, please, if it possible move into safe places and stay away from disaster

Be safe,

Vitaly Kashchenko



ロータリー財団

マルチプル(8)

鈴木 伸雄
(大宮)

令和4年10月1日

マルチプル(5)

黒須 雅行
(蓮田)

令和4年11月29日

マルチプル(2)

三浦 守
(大宮)

令和4年11月25日

マルチプル(1)

川田 祐弘
(大宮シティ)

令和4年11月29日

マルチプル(1)

古川 輝昭
(大宮シティ)

令和4年11月29日

米山奨学会

米山功労者メジャードナー(37)

北 清治
(浦和東)

令和4年11月29日

米山功労者メジャードナー(21)

中川 高志
(大宮)

令和4年11月25日

米山功労者マルチプル(5)

小宮 清
(蕨)

令和4年11月7日

米山功労者マルチプル(4)

小山 重治
(戸田西)

令和4年12月8日

米山功労者マルチプル(2)

柳川 一嘉
(さいたま櫛)

令和4年12月2日

米山功労者マルチプル(2)

小林 治夫
(大宮)

令和4年11月25日

米山功労者マルチプル(2)

小泉 亘
(蕨)

令和4年11月7日

米山奨学会

米山功労者マルチプル(2)

納口 俊道
(川口中央)

令和4年11月17日

米山功労者

鳥井 義兼
(さいたま櫛)

令和4年11月29日

米山功労者

佐伯 陽子
(浦和東)

令和4年11月29日

米山功労者

齋藤 清和
(蓮田)

令和4年11月29日

米山功労者

新藤 誠子
(蕨)

令和4年11月7日

米山功労法人

石井電工(株)
(浦和東)

令和4年11月29日

新 会 員

岩崎 重広
(蓮田)令和4年11月2日入会
岩崎工業株式会社
総合建築業福田 悠一
(越谷東)令和4年11月10日入会
株式会社トゥーコムスト
老人福祉・介護事業中村 俊宏
(浦和)令和4年11月18日入会
株式会社エクス・アドメディア
イベント企画制作中村 正直
(浦和)令和4年11月18日入会
株式会社ユービーエス
ビル管理高尾 勇樹
(浦和北東)令和4年11月29日入会
株式会社勇馬
飲食業内海 千郷
(八潮)令和4年11月29日入会
株式会社スリーエス
飲食業

訃 報

謹んでお悔やみ申し上げます。

石澤 孝幸
(大宮西)2022年11月19日ご逝去
享年51歳三澤 春樹
(上尾北)2022年12月2日ご逝去
享年86歳中村 隆俊
(戸田)2022年12月9日ご逝去
享年95歳中田 勝久
(三郷)2022年12月11日ご逝去
享年84歳



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

vol. **273**
2022年12月13日
発行

1. 電話詐欺被害を防いだ学友に感謝状

10月17日午後23時半ごろ、甲府市内のコンビニエンスストアでアルバイトをしていたレー・チュオン・ロクさん（2020-22/甲府南RC）が、70代後半の男性客より「電子マネーカードを大金でまとめて購入したい」という申し出を受けました。不審に思い使途を確認したところ、目的や電子マネーカードに関する理解度が曖昧だったことから、電話詐欺を確信。110番通報を行い、男性客が電話詐欺被害に遭うのを未然に防ぎました。

第2620地区の渡辺郁米山記念奨学委員長によ



甲府署で感謝状を受け取ったロクさん(中央)

ると、ロクさんは真面目で正義感が強い学生とのこと。「日本人でさえ声掛けを躊躇することが多い中で、人や社会のために役に立ちたいと考え、行動するロクくんだからこそ、できた行動だったと思います」と、ロクさんの対応を称賛しました。

甲府警察署は11月28日、この勇気ある行動に対し、天野英知署長が感謝状を贈呈。受け取ったロクさんは、「詐欺被害を防ぐことができとても嬉しいです。今後も地域社会に貢献できるよう頑張ります」と、述べました。

2. 寄付金速報 — 12月の送金はお早めに —

前年同期比

+ 5.5%

普 - 1.7% 特 + 9.2%

11月までの寄付金は、前年同期と比べて5.5%増（普通寄付金:1.7%減、特別寄付金:9.2%増）、約3,700万円の増加となりました。多くのロータリ

アンからご寄付をいただきまして、厚く御礼申し上げます。12月30日までに当会口座に着金した特別寄付金については、確定申告用領収証を来年1月末日までに各クラブ宛に発送します。詳細は、ページ下の案内をご覧ください。年内はお早目にご送金くださいますようお願いいたします。

3. 第5代よねやま親善大使を募集（2/15まで）

ロータリー米山記念奨学会では、第5代よねやま親善大使の募集を開始します。「よねやま親善大使」は、日本全国のロータリー地区大会・米山セミナーなどでスピーチを行い、当事業への理解を広める活動をしています。奨学期間を終了した日本国内在住の米山学友で、スピーチが得意な方、ロータリー活動に熱意のある方の

応募をお待ちしています。任期は2023年7月から2年間、応募締切は、2月15日（当会必着）です。詳しくは、当会ホームページの「News & Topics」>「重要なお知らせ」をご覧ください。お知り合いの学友で適任の方がいれば、ぜひご推薦ください！

（※学友本人からの応募が必要です）

申告用領収書は来年1月にお送りします

ロータリー米山記念奨学会へのご寄付は税制優遇を受けることができ、「税額控除」か「所得控除」いずれか有利な方式を選択できます。今年1～12月に寄付をした方には、来年1月末日までに申告用領収書をクラブ経由でお送りします。**12月30日（金）当会着金分までが対象です。**

米山記念奨学会事務局は、12月28日（水）～1月5日（木）の間休業させていただきます。来年は1月6日（金）より通常業務となります。

4. 韓国米山学友会総会が3年ぶりの対面開催



11月26日、ソウル市内のホテルにて、韓国米山学友会総会が開催されました。同学友会の総会は3年ぶりに対面開催となり、会場には60人が参加しました。

第1部は、全炳台会長（1980-83／仙台北RC）の挨拶を皮切りに、当会の若林紀男理事長

からのビデオメッセージが上映され、梨泰院での事故への追悼の意を表すとともに、同学友会の発展と世界平和への願いが語られました。また、滝澤功治副理事長が会場に出席し、激励の言葉を述べました。

韓国の現代音楽である「サムルノリ」の公演で華々しく幕を開けた第2部は、同学友会が独自で支援する現地日本人奨学生の新況報告や、来年8月5日・6日につくば市で開催される世界大会「再会 in 関東」の紹介などが行われました。ようやく対面での開催ができた今回の総会には、日本からも多数の学友やロータリアンが出席し、大盛況となりました。

5. 米山の絆を深めてポリオ根絶をアピール

10月23・24日、国際ロータリー第2750地区の米山奨学生・ロータリアン泊研修旅行が開催されました。米山奨学生同士の絆、米山奨学生とロータリアンとの絆を深めることに重点を置いたという今回の研修旅行には、米山奨学生20人、ロータリアン21人、ローターアクター1人の、総勢42人が参加。

目的地の伊勢神宮では、御神楽奉納などを特別拝観し、日本の歴史と伝統を体感。また、24日の「世界ポリオデー」に合わせ、全員で「エンドポリオナウ」のシャツを着用。ポリオ根絶をアピールするとともに、参加した奨学生も、



お揃いのシャツで記念撮影

ポリオへの関心と理解を深めました。同地区の柳田一行米山記念奨学委員長は、「奨学生たちが心から楽しんでいる姿、素敵な笑顔が、ロータリアンとして最高の幸せを感じた瞬間でした」と、充実の研修旅行を締めくくりました。

6. 「恩返し」のチャリティー奉仕リレー第2弾

第3回米山学友による世界大会「再会 in 関東」に向けた、関東10地区学友会による“チャリティー奉仕リレー”。

前回の国際ロータリー第2770地区米山学友会に続く第2弾として、11月13日、第2750・2580地区米山学友会、ローターアクトクラブによる「南北合同地区行事」が開催され、募金活動とプロギング活動（ジョギングとゴミ拾いをミックスした、スウェーデン発祥の取り組み）を行いました。募金活動では、



取り組みについて紹介する米山学友

米山奨学生として支援をいただいた「恩返し」として、日本の貧困に苦しむ子どもたちへの教育支援をしたい、という学友たちの思いに対し、多くの寄付が集まりました。

以前から、こども食堂への支援を行っている第2750地区米山学友会の李炫濤会長（2011-13／東京お茶の水RC）は、「チャリティー奉仕リレーにローターアクターが初参加し、ロータリーファミリーの横の輪が広がり、嬉しく思います」と、述べました。

Rotary
Region 1 & 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2023 年 1 月号 No.1

発行：Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター



第2地域 ロータリーコーディネーター補佐 辻 正敏 (津)

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。唐突ですが、ステータスという言葉があります。日本語では「社会的な基準であり地位の高さ」という意味を持ちます。英語では、ただ「地位」です。以前ロータリーに入るとステータスが上がると言いました。今も言うのかも知れません。逆に言うと、ロータリーに入っている人は、入っていない人より地位として高くなると言えます。理屈を捏ねるつもりはありません。「あなたはロータリーという理念や思想にふさわしい人ですかと日々自問自答していますか」と聞かれたらどう答えますか。

11月のロータリー研究会で国際ロータリー会長のジェニファー・ジョーンズさんが基調講演（同時通訳）の中で、ご自身の弟が言った言葉として、「市民生活、自分自身の生活そのものがロータリー」を紹介され、続けて「周りで起きる様々な事件は対処対応の機会を与えてくれている」のだと語られました。そのような考え方ができる人、またはそのように考えられる人になろうとすることがロータリアンだと私には聞こえました。そこで改めてロータリアンのステータスについて考えてみることにします。私が思い出した言葉は「ノブレス・オブリージュ」です。欧米で定着した道徳観です。「貴族や上流階級などの財産、権力、地位を持つ者は、それ相応の社会的責任や義務を負う」というものです。日本では「分相応」という言葉がありますが、それよりは明確な意味のように聞こえます。また「ノブレス・オブリージュ」は「騎士道」と繋がる言葉とありました。騎士道は、忠誠と勇気に加え、敬神・礼節・名誉・寛容、また女性への奉仕などの徳を理想としました。

日本には「武士道」があります。武士道は、君主への絶対的な忠誠の他、信義、尚武、名誉などを重んじました。少し詳しく言うと、義（正義）・勇（正義を貫く勇氣）・仁（慈愛）・礼（心からの礼儀）・誠（正直誠実）・名誉（恥を知る）・忠義（忠誠）の七つの徳でした。この七つの徳を「四つのテスト」と比べてみることにしました。ここからは私が感じるままに書きましたのでお許しください。1番目の「真実かどうか」は義・勇・誠・忠義が、2番目の「みんなに公平か」は礼・誠・名誉、次の「好意と友情を深めるか」は仁・礼・誠、最後の「みんなのためになるかどうか」はロータリーの理念や考えに忠実かとなって仁・誠・名誉・忠義です。こうして考えると武士道と騎士道では敬神と女性への奉仕が異なるくらいです。しかし敬神は、騎士道の世界では一神教ですから書かれますが、武士道と言いますか日本は多神教で宗教を問いません。ただ女性への奉仕というのは異なります。これが今盛んに言われている女性会員がまだまだ少ない原因かも知れませんかと言ったら飛躍し過ぎでしょうか。中核的価値観とも簡単に比べてみましょう。中核的価値観は、親睦・奉仕・高潔性・多様性・リーダーシップです。親睦は仁、礼であり誠、奉仕は義であり勇、高潔性は義、勇であり誠、多様性は仁であり礼、リーダーシップは義、勇、仁、礼、誠、名誉、忠義のすべてと言えます。細かいことは別として、昔から人として生きるために言われてきたことは、ロータリーが現在言っていることにも通じていると思います。よく言われる職業奉仕が忘れられたという話も武士道騎士道がロータリーの考えに通じるところがあるとすれば、職業奉仕は忘れられてはいません。両道とも武士、騎士という階級ですが、当時の職業と言ってもよいと思います。すると武士道も騎士道もその職業の掟とも言えます。

どうも近頃ロータリーを難しく考える風潮を感じます。何か理論や難しい言葉、特にロータリーが好きな略語の羅列がまかり通っています。誰でもわかる言葉で易しく簡単にロータリーの話をするだけでよいのではないのでしょうか。それが最も公共イメージ向上につながるのではないのでしょうか。公共イメージの向上はロータリーのステータスを上げることですから。



I serve の公共イメージ

第2地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 神野 正博 (七尾)

ロータリーのDEIのDiversity多様性は、会員の人種や国籍、性別、年齢、障がいの有無、宗教、性的指向、価値観などの多様性から、キャリアや経験、職歴、働き方といった職業生活における多様性まで幅広いジャンルで用いられる。

私は、2021-22年度の国際ロータリー第2610地区のガバナーとして、コロナウィルス感染症の状況を横目に見ながら、地区内64クラブへオンラインからリアルかで、公式訪問を行った。その中で、クラブにも多様性があることに気

付いた。RI 会長テーマや地区ガバナー方針など同じコンテンツが流れるものの、その解釈や実効性は多様だ。

決して類型化するわけではないが、大きく 3 つのクラブ形態があるように思えた。

- ① 伝統あるクラブでの I serve
- ② 中間型
- ③ 比較的若いクラブでの We serve

すなわち、③で示した地域における社会奉仕を目的として会員が集った元気のいいクラブでは、We・皆で集まり奉仕活動をやり、積極的にマスコミや SNS に情報発信し、公共イメージを向上させる。まさに、一人でできないことでも徒党を組むことで、自己実現を狙うわけだ。

一方、①の伝統と格式を誇る老舗クラブだ。ここの会員になることがステータスであり、また、地域の企業や組織のリーダーを会員とする。例会での、情報交換こそが職業奉仕であり、それが I serve である。ここでは、「陰徳」の日本の精神とともに公共イメージ向上へのインセンティブは低いかもしれない。

そして、②のその中間型クラブが大半を占める。クラブの重鎮の意見や特に会長の考え方で年度の取り組みは異なる。いわば、会長イニシアティブ型だ。

敢えて、どの類型が是か否かはしない。繰り返すがクラブの多様性だ。ただ、新入会員にとって、自分の思いとクラブの考え方で乖離があったならば不幸だと言えよう。

各クラブが、自分たちの Mission, Vision, Value を、また、なりたい姿、ありたい姿を明文化してみよう。さらに個々の会員が「私は誰だ?」「なぜロータリーにいるのか?」といった物語を明文化してみよう。それを、地域に公開することで、地域における公共イメージを確立し、同行の士を募ることができるのではないだろうか。



第2地域 ロータリー財団地域コーディネーター補佐 高橋 茂樹 (東京世田谷)

ロータリー財団地域コーディネーター補佐を拝命して3年目の第2地域、RI 第 2750 地区、東京世田谷ロータリークラブ所属の高橋茂樹と申します。

2020-21 年度、2021-22 年度は Covid-19 の影響を受けて、ARRFC として十分な活動を行なうことができませんでしたが、3 年目の本年度は、第2地域の中で私が担当をさせていただいております5地区のロータリー財団委員長の皆さんとも対面でお話ができる状況になり、やっと担当地区にも伺うことができるようになりました。もともと第2地域では、チーム FF9 という第2地域内の9地区のロータリー財団委員長の会がありますので、比較的情報交換が行われているものと思いますが、それでも、コロナの影響は大きかったと思います。

その様な状況の中、11月19日に神戸で開催されました本年度のロータリー財団地域セミナーも全国から200名を超える皆様にお越しいただき、盛大に行なうことができました。今回のセミナーの中で、私は2つのパートを受け持たさせていただきました。1つは、第1地域の羽部大仁直前 RRFC とご一緒に、「PHS(ポールハリスソサエティ)入会を推進する」と言うテーマで掛け合いでのお話をいたしました。もう一つは、「ロータリー財団のクラブへの認知度向上」と言うテーマでのパネルディスカッションで、4地区のロータリー財団委員長の皆様にパネリストになっていただき、モデレーターを務めさせていただきました。そして、これらを担当させていただくにあたり、いろいろと調べさせていただきましたが、そこで思いました幾つかの点について述べさせていただきます。

まず、PHS に関しましては、PHS 会員数が100名以上の地区は3地区しか無く、更に14地区でまだ PHS コーディネーターがアサインされていない状況と言うことが分かりました。地区にとっても、クラブにとっても寄付目標を達成するために、PHS 会員を増やすことは、とても重要なことと考えます。是非、PHS 入会を地区として推進していただければと思います。

また、パネルディスカッションを行なうにあたって、34地区のホームページを全て拝見いたしました。そこで感じましたことは3つありました。一つ目は、ロータリー財団に関する情報が少なすぎるということです。二つ目は、独自の情報では無く、マイロータリーへ誘導したり、ロータリー日本財団のホームページやロータリー財団ニュースを掲載することで、済ませているケースが多いということです。マイロータリーに誘導するのであれば、その前提として、マイロータリーの登録を推進しなければなりません。そして、3つ目は、地区のロータリー財団委員会がこれで本当に機能しているのかと思える地区があると思えることです。

皆様の地区のホームページをご覧いただき、ロータリー財団に関する情報のあり方について、検討していただければ幸いです。また、同時に、どの様な委員会組織にすれば、より効果的な、より実践的な委員会活動が行えるかも、再検討いただければと思います。

ロータリー財団がなぜ必要なのか、なぜ重要なのか、その答えを、是非、もう一度お考えいただき、実行していただきますようお願い申し上げます。

2022-23 年度 国際ロータリー第 2770 地区ローターアクト会長幹事会

2022年12月17日(土)11時～16時30分

蓮田駅西口行政センター

12/17 に細淵ガバナーご臨席のもと、地区内ローターアクト全 9 クラブ集結し会長幹事会を開催しました。地区アクトクラブ初の試みとなる合同例会実施に向け、全 9 クラブを 3 グループに分け、関心のあることと社会奉仕を絡めた企画に努めました。例会内容は献血や SDGs を意識したアウトドア、食を通じた異文化交流など、楽しみながら社会貢献ができる内容となりました。



山家代表、東幹事、アクトメンバー達と集合写真 ▲



地区ローターアクト初となる、
合同例会に向けたディスカッション



ディスカッション内容発表

【表紙写真】

ロータリー財団管理委員賞受賞作品「幸手市民の思い」

幸手RCでは、エンドポリオを推奨し2500個の風船を作り大空へ放つイベントを行いました。来場してくださった方々に色とりどりの風船を配り、多くの方にエンドポリオについてご理解を頂き募金に協力していただきました。

多くの人々がエンドポリオについて知り、私達ロータリアンの長きにわたるポリオ撲滅運動が我がふるさと幸手市の市民の皆様へ届き、幸手RCのエンドポリオの思いが幸手市民の思いになった。そんな特別な1日の、特別な1枚です。

撮影者 幸手RC 紙本 瑞基

ガバナー月信担当より

GGの発行もあと半分となりました。細淵ガバナーの公式訪問が終わり、地区大会も無事に終え、下半期のトピックスはIM、周年行事などをご紹介します。その他には細淵ガバナー年度当初からの方針で各クラブそしてメンバーの皆様からの情報を発信して参ります。つきましては、皆様からの活動の報告、また健康・食・親睦の情報をお待ちしております。引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

From CAR GRAPHIC Publisher



株式会社カーグラフィック 代表取締役 加藤 哲也

経歴：

1959 年東京生まれ。1985 年株式会社二玄社入社、CAR GRAPHIC 編集部配属。2000 年から同誌 4 代目編集長を務める。2007 年から姉妹誌 NAVI 編集長を歴任。2010 年、CAR GRAPHIC 事業／商標を二玄社から譲渡され、新しい出版社株式会社カーグラフィック設立。

同社代表取締役に就任。現在に至る。

ロータリークラブ細淵雅邦ガバナーとはお互いの人生に欠かせない自動車を通じた 30 年来の友人。

サーキットやイベント会場で度々顔を合わせるだけでなく、先日は某有名シンガーのライブ後、イタリアンレストランで大騒ぎしたばかり。

美味しいイタリアン

イタリア料理ってやっぱりとても美味しい。それも極めてわかりやすく美味しい。塩味が効いて、トマトやチーズが程よい酸味を感じさせ、しかも素材の旨みをちゃんと活かしている。

今から 35 年ぐらい前にイタリアを初めて訪れたとき、驚いたことが実は 3 つあった。

ひとつ目は赤いクルマがまったく走っていないこと。シルバー、ガンメタリック等ばかりで、赤ばかりか、イエローやグリーンといったポップな色合いのクルマさえ少ない。むしろ派手な色のクルマはドイツの方が多い。

ふたつ目はメンズファッションが実にクラシカルなこと。イタリアはモードの国だと信じていただけに、これにも驚いた。当時流行っていたヴェルサーチやアルマーニなんて、ミラノ随一の高級ブランド街、モンテナポリオーネを歩いたってひとりも見ないのである。イタリアンモードがアメリカや日本といった国に向けた「輸出産業」であることを痛感させられた。

そして最後が、食のレベルがべらぼうに高いことだった。生まれて初めてミラノのホテルにチェックインした後の最初の夕食。長いフライトで疲れていたし、当然ひとりメシだったこともあって、投宿先のそばで見つけた食堂に転がり込んだ。コンセルジュに勧められた有名店や人気店ではない。正真正銘の街の大衆食堂。しかしプリモピアット（最初のひと皿）からべらぼうに旨いのである。何を頼んだかまでは忘れたが、皿に残ったソースをパンで掬ってキレイに食べ切った記憶がある。

以来イタリアには公私を問わず足繁く通っているが、ホンの数回を除き、不味かったためしがない。

とはいえ例外もあって、絶対に入っちゃいけないのはヴェネツィアはサンマルコ広場そばのリストランテ。僕は子連れで旅した際、2 度ほどランチを摂ったことがあるが、シンプルなパスタでさえ高い、不味い、サービス悪いの 3 拍子。もし水の都で食事するならリアルト橋近くの MADONNA、もしくは Da Franz がお勧めだ。

そんなわかりやすく美味しいイタリア料理同様に、イタリア車もまたわかりやすく運転が楽しい。快活なエンジン、クイックな身のこなし、といった特徴は、それこそフィアットの大衆車からフェラーリのスーパースポーツまで息づいている。

ドイツ車の精緻さ、有無を言わせぬ高性能、高品質感とはまた違う自動車の魅力である。

イタリア車には無機質な金属の塊を操っている感覚が薄い。もちろん機械、工業製品ではあるけれど、なんというか、お喋りな、気のおけない仲間と興じているような印象なのだ。理知的な会話もできるが、下世話な話題も得意。運転という行為に積極的にコミットしている実感が得られるのが美点だ。

自動車という製品は、生産国や土地柄、作っている人たちのメンタリティに大きく依存する。そこがまた面白い部分だ。車を知ればその国がわかる。少なくとも僕は子供の時分、自動車雑誌、具体的にいえば今僕が籍を置く CAR GRAPHIC の批評を通じて世界、というか西欧の事情を知った。勤勉なドイツ、合理的(ケチと言い換えることもできる)かつ独創的なフランス、明るく活発なイタリア。ローカルな魅力を持つからこそグローバル製品として輝ける。

自動車にはこれからもそういう製品であり続けて欲しいと、強く願っている。



2022～2023 年度 12 月 会員数報告

クラブ名	2022年 7月1日 現在		当月末 会員数		増減	目標 純増	通算 入会
		内 女性		内 女性			
浦和	97	3	100	3	3	10	5
浦和東	100	15	100	15	0	3	3
浦和南	22	3	21	2	-1	5	1
浦和中	32	2	34	3	2	5	2
浦和ダイヤモンド	21	3	21	3	0	3	0
第1グループ計	272	26	276	26	4	26	11
浦和北	70	3	68	4	-2	10	2
さいたま中央	43	2	43	2	0	5	0
さいたまシティ	21	2	19	1	-2	3	0
浦和北東	34	3	38	3	4	12	4
さいたま新都心	37	0	37	0	0	5	0
第2グループ計	205	10	205	10	0	35	6
大宮	63	2	66	2	3	3	6
大宮南	37	9	37	10	0	7	1
大宮中央	37	1	37	1	0	3	0
大宮シティ	55	3	54	3	-1	5	0
さいたま樺	33	2	37	2	4	5	4
さいたま大空	17	7	17	7	0	3	0
第3グループ計	242	24	248	25	6	26	11
大宮西	114	10	114	11	0	15	1
岩槻	23	1	25	1	2	5	2
大宮北	9	0	9	0	0	3	0
大宮東	37	1	44	4	7	5	7
岩槻東	25	3	24	3	-1	4	0
大宮北東	11	1	11	1	0	3	0
第4グループ計	219	16	227	20	8	35	10
上尾	35	0	35	0	0	2	0
鴻巣	27	4	27	4	0	5	0
桶川	22	1	22	1	0	5	1
上尾西	41	3	42	3	1	3	1
北本	6	1	6	1	0	3	0
上尾北	20	0	20	0	0	2	0
鴻巣水曜	29	2	30	2	1	2	1
桶川イブニング	26	3	26	3	0	2	0
第5グループ計	206	14	208	14	2	24	3
春日部	27	1	30	2	3	3	3
杉戸	40	1	40	1	0	3	1
春日部西	27	3	27	3	0	5	0
庄和	17	0	17	0	0	2	0
春日部南	28	1	28	1	0	3	0
春日部イブニング	32	2	33	2	1	2	1
第6グループ計	171	8	175	9	4	18	5

クラブ名	2022年 7月1日 現在		当月末 会員数		増減	目標 純増	通算 入会
		内 女性		内 女性			
幸手	43	1	43	1	0	3	0
蓮田	49	4	51	4	2	5	2
久喜	47	5	47	5	0	10	0
幸手中央	19	2	20	2	1	6	1
第7グループ計	158	12	161	12	3	24	3
越谷	91	3	91	3	0	5	3
越谷南	41	4	40	4	-1	3	1
越谷北	41	1	41	1	0	2	0
越谷東	55	4	57	4	2	5	2
越谷中	13	3	12	2	-1	1	0
第8グループ計	241	15	241	14	0	16	6
八潮	33	2	38	3	5	3	6
八潮イブニング	12	0	12	0	0	2	0
草加中央	7	3	7	3	0	0	0
八潮みらい	18	1	19	1	1	2	1
草加松原	31	2	33	2	2	3	2
草加シティ	16	6	18	6	2	4	2
第9グループ計	117	14	127	15	10	14	11
吉川	12	0	12	0	0	2	0
三郷	25	3	26	4	1	3	1
三郷中央	15	1	15	1	0	3	0
三郷ウェンズデー	7	1	10	1	3	2	3
松伏	18	2	17	2	-1	2	0
吉川中央	14	3	14	3	0	3	0
第10グループ計	91	10	94	11	3	15	4
川口	99	18	101	19	2	12	2
鳩ヶ谷	15	1	15	1	0	3	0
川口東	23	1	23	1	0	5	0
川口/鳩ヶ谷武南	21	3	21	3	0	3	0
川口モーニング	25	2	24	2	-1	5	0
川口南	21	4	21	4	0	3	0
川口シティ鳩ヶ谷	10	2	11	3	1	2	1
埼玉ゆず	4	4	4	4	0	4	0
第11グループ計	218	35	220	37	2	37	3
戸田	57	5	56	5	-1	2	0
蕨	18	4	20	4	2	2	2
川口西	14	2	14	2	0	5	0
戸田西	18	1	16	1	-2	2	0
川口北	25	3	26	3	1	3	2
川口北東	5	0	4	0	-1	5	0
川口中央	10	1	10	1	0	2	0
川口むさし野	16	3	16	3	0	2	0
戸田イブニング	10	0	10	0	0	2	1
第12グループ計	173	19	172	19	-1	25	5
地区合計	2313	203	2354	212	41	295	78